

安全衛生・兵庫

新たな国有林のスタートに当たり

兵庫森林管理署長 川畑 宏二

国有林野事業は、この4月から一般会計に移行し、新たなスタートを迎えました。昨年6月に法案が可決成立してから、あつという間にこの時を迎えたというのが実感です。様々な論議経過を経ながらも、ここに至ったということであり、国民の皆さんの期待と信頼に答えられるよう、職員一丸となって取り組んでいきたいと考えております。

さて、私たちの兵庫森林管理署は、災害のない職場、明るく風通しのよい職場を目指すなかで、昨年も無災害を継続することができました。職員皆さんの努力に感謝申し上げます。

平穩の中で忘れがちではありませんが、健康に留意し災害を起こさない、この当たり前のことができてこそ、我々に課された将来のための山づくりという課題を達成することが可能でありますので、ぜひとも、今年度も無災害を達成することを共通の目標に掲げ、すばらしい1年となるよう、みんなの前に進んでいきましよう。

昨年度末、局長から

の訓示として、「一般会計化により変わるところ、変わらないところ」という話をいたしました。が、労働安全衛生の確保については変わらないところでしょう。



先代スギ (赤西国有林)

近年は、刃物を振るう機会が少なくなり、以前のような災害も減少していますが、私たちの働く場所は傾斜が急であったり、あるいは様々な傾斜が複雑に組み合わさった森林です。転石がありますし枯れ木も存在します。また、気象条件により刻々と表情が変化します。



自然環境の中では、これまでの経験だけでは防げないことが生じる可能性がありますので、その日その日の作業箇所にあった注意事項を頭に刻み込み、危険をあらかじめ予知するなど、工夫を凝らした対策が必要になります。

また、請負事業体の皆さんの現場に伺う機会がありますが、そこでは、安全対策は決して自分の身を守るためだけではありませんという話をすることがあります。

若手や新たに業界に入ってきた方は、社長の話や研修の講師の話を参考に安全対策に取り組むわけですが、これだけではありません。中堅以上で、一般にベテランと呼ばれるような方の一挙手一投足を見ている場合が多いわけですね。つまり、先輩職員は若手の見本となるように取り組んでもらいたいということですね。

子供が親の真似をして育つように、経験の浅い職員は先輩職員の良いことも悪いことも吸収してまいります。将来、今の若手が怪我をしないように、全てを知っているベテランこそ基本に立ち返り、忠実に取り組むことが求められると思っています。

今年度も引き続き、兵庫森林管理署が健康で災害のない、明るい職場としてあり続けるよう、職員皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。

免疫力(自然免疫)を高める生活を!

◎免疫って?

「疫病(病気)から免れるためのしくみ」でウイルス等、外からの異物を退治し自分を守るうとする働きのこと。「自然免疫」と「獲得免疫」の2つの免疫システムがある。

◎2つのシステム

- ① 自然免疫・・・生まれた時から持っている。マクロファージ、好中球、NK細胞が代表的。
- ② 獲得免疫・・・後天的に獲得される。しかし、風疹等の予防接種は獲得免疫を利用した予防方法。リンパ球のT細胞、B細胞等が代表的。

◎自然免疫を高める!

免疫力のピークは20〜30代。しかし、元気な高齢者もいれば風邪をひきやすい若者もいます。免疫力は生活習慣や心の状態、環境等に大きく影響されます。免疫力が低下する原因をできるだけ取り除いてからだに優しい生活を心掛けましよう。

♪笑う。

♪ストレスをためない。

♪バランスのよい食事を心掛ける。

♪飲酒量は適度に。

♪熟睡する。

♪無理のない運動をする。

♪禁煙する。

「笑い」はNK細胞を活性化します。面白いことがなくても笑い顔を作るだけでもいいという実験報告も。笑い顔になるだけでNK細胞が活性化するなんて、やってみる価値あり!ですね。



この花なあに?

参考文献：暮らしと健康等

発行 兵庫森林管理署 健康安全協議会